



轟見 久美子 議員



### プレコンセプションケア健診事業について

**問** 男女とも早い時期から、将来の妊娠や、体の変化への備えや意識を高めることが重要だと考える。学校教育への推進と健診事業導入に対して所見と課題について伺う。

**答（福祉部長）** 導入には健診内容や医療機関との調整が課題となる。他自治体を参考に幅広い世代の方に啓発していきたい。

**答（教育部長）** 行政や医療機関

等と連携し、発達段階に応じた指導により推進に努めていく。



### 学校給食費の無償化について

**問** 子育て世帯への生活費負担軽減として、第3子以降の無償化について所見と課題を伺う。

**答（教育部長）** 課題は対象範囲と継続的な財源確保で、助成の在り方を今後も検討していく。

### 高齢者対策について

**問** 高齢者の見守り強化のため

の持ち物につける2次元コード活用事業導入について所見と課題を伺う。

**答（福祉部長）** 家族への連絡や保護等、早期対応に有効と考える。地域への周知と本人への配慮が課題で、情報収集し安全、安心な仕組みを研究したい。

### ふるさと納税について

**問** 利用者や寄附額を増やすために差別化が必要であるが工夫と方向性について伺う。

**答（企画政策部長）** 市内企業等の強みを生かし返礼品を拡充している。市の知名度向上、地域経済の活性化を通じて地域創生を推進していきたい。



高橋 秀彰 議員



### 発達性読み書き障害（ディスレクシア）について

**問** ディスレクシアは、会話などには問題がなく、知的な発達にも異常はないのに、文字情報の処理や読み書き能力だけに著しい困難を示す障害である。学校や家庭において、ディスレクシアの子どもを、一人も見過ごさない取り組みが必要であり、二次障害などに至らぬ十分な支援が必要と考えるがどうか。

**答（教育部長）** 児童生徒には、

各学校の特別支援コーディネーターを中心に、学校での個別相談に丁寧に応じていく。未就学児に関しては、療育機関や福祉部と連携を図り、個別に就学相談を実施することで、ディスレクシアの児童生徒を見過ごすことのないよう、児童生徒、保護者に寄り添った支援をしていく。

### 災害時のトイレ対策について

**問** 災害時のトイレ対策は、市民の命と尊厳に関わる問題であり、女性の視点や高齢者等、災害時要配慮者の視点も考慮した準備が必要である。災害時における市の充実したトイレ対策に向け、遺漏のない万全な準備、整備が必要と考えるがどうか。

**答（市長）** 災害時のトイレ対策は、身体、生命に関わる重要なことと認識している。避難所をはじめ災害時の緊急使用を想定したトイレの整備、確保を促進し、トイレ問題による健康障害を起こさないよう、災害に強いまちづくりを目指して事業を進めていきたいと考えている。

